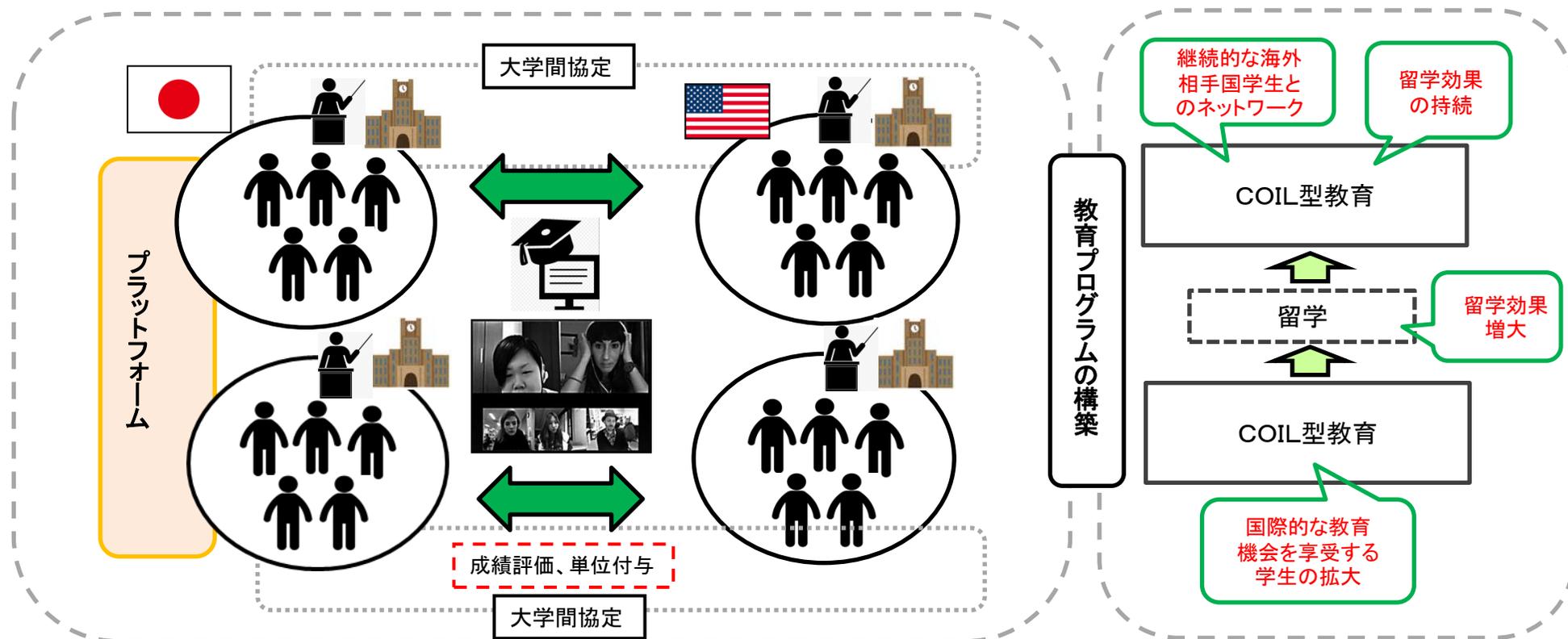


COILとは

Collaborative (協働・交流)
Online (オンライン)
International (国際)
Learning (学習)

オンライン教育手法の進化を国際的な大学間交流に応用した、国際的・双方向的な新しい教育実践の方法。
情報通信技術 (ICT) ツールを活用し、海外の学生と様々な分野のプロジェクトをバーチャルに連携しながら実施することで、国内に居ながら海外大学の学生と協働して学習できる。

大学間協定を締結した海外連携大学との間で、COIL型教育を活用した、単位認定、成績評価などの質の保証を伴う先導的な国際教育プログラムの開発・実施を通じて、日米大学生の交流活性化を図る。



日本



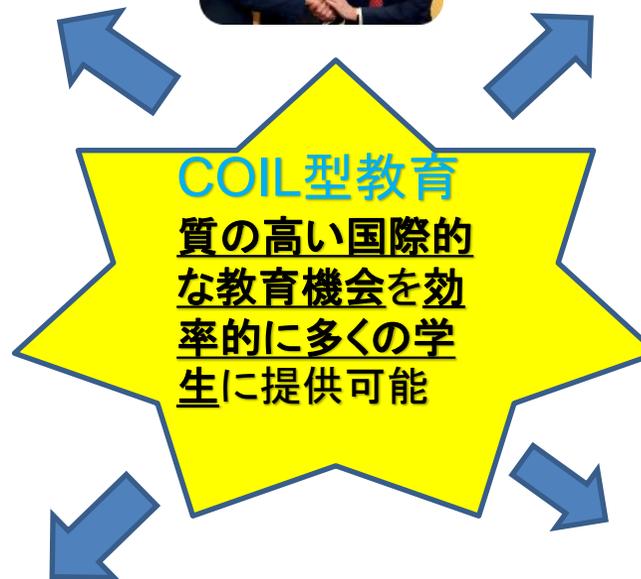
- 経団連の調査によると、経営を進める上で、グローバルに活躍できる人材不足が大きな経営課題として認識されている。
- グローバルな舞台で活躍する人材は、多様性への理解や寛容性が必要であり、主体性やコミュニケーション能力などは大学卒業時に学生が身につけていることが期待されている。
- こうした背景において、大学に対して双方向の留学生交流推進や、学生の主体的・能動的学びを促す双方向型の授業への転換に期待がある。



米国



2017年1月
トランプ
大統領就任



- 米国は、国外へ留学する学生（アウトバウンド）がOECD加盟国と比較して少ない。
- 外国留学の経験がほとんどない学生の留学が増え、るにつれ、特にアジア系以外の学生にとってなじみの薄いアジアを留学先として選ぶ学生が少なくなっている。
- アジア諸国の中でも留学先として1番選ばれているのは中国であり、米国人学生の日本への関心向上が急務である。

○期待される効果

- 海外大学との連携強化による質の高い教育プログラムの構築・実施
- 効率的に多くの学生に国際的な教育機会を提供
- 地方大学における国際的協働教育活動の推進によるグローバル人材※の輩出

※グローバル人材: グローバルマインドを持ちながら地方創生に貢献できる人材

